

【報告】

手話を含む多様な コミュニケーション手段の普及について

～すべての人が自由にコミュニケーションできる市を目指して～

福祉部障がい福祉室

はじめに

令和6年8月5日の第1回シティプロモーションアドバイザー会議では、障がい福祉室の重点的な取組の1つである「手話への理解促進及び普及」について様々なアドバイスをいただき誠にありがとうございました。

特に「すいたん手話トライ」の再生数の増加に関する具体的アドバイスにつきました。その後の動画作成にとっても有益なものとなりました。

本日の第2回の会議では、どのように活かしたのかを報告させていただき、今後の「すいたん手話トライ」の方向性についても話をさせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

C o n t e n t s

- ① 前回会議でいただいた主なアドバイス
- ② 令和6年度「すいたん手話トライ」の取組
- ③ 今後の「すいたん手話トライ」

前回会議でいただいた主なアドバイス

① 手話に対して、どのように興味を持ってもらおうかという前段が必要である。

② オフラインのイベントはオンラインでの情報発信との親和性が高い。例えばInstagram等であれば地元にリーチしやすいものなので、そういったことを念頭に置いて取り組んでも良い。

③ 市内の大学生との連携を図ることは、SNSの親和性も高くより効果的である。

④ 実際にすいたんがまちに出て市民に手話クイズを出してみたり、ガンバ大阪やすいたフェスタなどと連携することにより、再生数は伸びるはずである。

5 手話を当たり前のものとするためには、小中学校の授業への組み込みや職員採用試験への導入などを行い、メディアにも取り上げてもらうことができれば良いのではないか。

6 シニアの方々を巻き込むのも一つである。子どもと一緒に手話の練習をしながらコミュニケーションをとる場を設定するのも良い。

7 動画が探しづらい。動画の再生リストを広報課に作ってもらうことが必要。

○ アドバイスを実践した項目。

「すいたん手話トライ」の取組

ガンバ大阪SDGsマッチ編



令和6年9月28日（土）にパナソニックスタジアム吹田で開催されたガンバ大阪SDGsマッチのイベントに参加して、「すいたん手話トライ〜ガンバ大阪SDGsマッチ編〜」として手話クイズのステージを披露しました。

大和大学や関西大学の手話サークルの大学生が手話通訳や手話の解説を担当し、一緒に盛り上げてくれました。

10分程度の短い時間でしたが、ステージを見てくれた多くの子ども達に手話の楽しさを伝えることが出来ました。

YouTubeの配信は、公開から2か月弱で300回を超えており、他の動画に比べて再生回数が伸びています。

すいたCOCOROフェス編



令和6年12月7日（土）にメイシアターで開催された、障がい者週間の記念イベント「すいたCOCOROフェス」において、大和大学の手話サークルの大学生と「すいたん手話トライ『手話でビンゴ』」を実施しました。



サイコロの目 【16の質問】		
3	好きなテレビは？	アニメ or スポーツ
4	好きなあそびは？	鬼ごっこ or かくれんぼ
5	どちらが好き？	チョコ or おまんじゅう
6	出かけるなら？	海 or 山
7	どちらが苦手？	ピーマン or かぼちゃ
8	どちらが好き？	猫 or 犬
9	どちらが好き？	みかん or バナナ
10	好きな色は？	赤 or 青
11	どちらが好き？	オレンジジュース or 牛乳
12	どちらが大きい？	飛行機 or クジラ
13	どちらが好き？	夏 or 冬
14	どちらが強い？	ライオン or トラ
15	早起きは得意？	得意 or 苦手
16	おばけはいる？	いる or いない
17	朝ごはんは？	ごはん or パン
18	どちらが好き？	外で遊ぶ or 部屋で遊ぶ

このゲームは3つのサイコロを振り、出た目に応じた16の質問（左表）をすいたんや大学生が手話で行います。

観客に配っているビンゴ表にもランダムに16の質問が記載されており、観客が選んだ答えとすいたんや大学生が選んだ答えが同じならチェックをします。「縦・横・ななめ」にチェックがそろえばビンゴになり賞品がもらえるというものです。

すいたCOCOROフェス編



当日は2回に分けてイベントを実施しましたが、各回とも親子や子ども同士での観客が多く、ビンゴゲームをしながら楽しく手話に触れることが出来ました。

すいたんはとても人気があり、すいたんが手話をする则観客から拍手が起こり、あらためてすいたんの人気を知りました。

↑ これは「犬」の手話です。



最後は、みんなで「ありがとう」の手話を行いました。子どもたちは「ありがとう」と声を出しながら手話をやってくれ、一体感がありとても盛り上がりました。

1月下旬からYouTubeで配信をしています。再生数が伸びることを期待しています。

喫茶店で使う手話(クイズ編)(会話編)

すいたん手話トライ

～喫茶店で使う手話(クイズ編)～



すいたん手話トライ

～喫茶店で使う手話(会話編)～



従来と同じようなスタイルでの動画配信も引き続き行っています。

今回の動画は「喫茶店でよく使う手話」として、「コーヒー」「砂糖」「ケーキ」などの単語をクイズ形式で紹介する『クイズ編』と、コーヒーとケーキの注文を手話による会話形式で紹介する『会話編』の2つを1月下旬に公開しました。

「ガンバ大阪SDGsマッチ編」「すいたCOCOROフェス編」との相乗効果で再生数が伸び、手話の広がりが一層進むことを期待しています。

今後の「すいたん手話トライ」

・ターゲット層

- ① 子ども（未就学～小学生）
- ② 親子

・役割

- ① 手話に触れて親しみを感じてもらう
- ② 手話に関する親子の会話が生まれるようにする

おわりに

「手話への理解促進及び普及」については、長期的な視点で継続的な取り組みが必要であり、「すいたん手話トライ」はその1つとして大変重要なものと認識しています。

今回いただきましたアドバイスにつきましては、まだ一部しか活用できておりませんが、今後の参考にさせていただき、少しでも多くの子ども達に、楽しみながら手話に触れてもらう機会をできるだけ多く作りたいと思います。

～ご清聴ありがとうございました～
